

〔TPN 水和剤（フロアブル）〕

ダコニールターフ

有効成分：TPN（化管法1種）…………… 53.0%

性 状：類白色水和性粘稠懸濁液体
毒 性：－
危 険 物：－
有効年限：3年
包 装：1000ml×12本

ダコニールターフは株式会社エス・ディー・エス バイオテックの登録商標です。

〔特長〕

- 病害、藻類、コケ類の同時防除剤として使える。
- 本剤の有効成分TPNは広範囲の作物・病害に使用されているが、耐性菌は出現していない。
- フロアブル剤なので薬液調製が容易である。
- 芝の主要病害である葉腐病（ブラウンパッチ）、炭疽病に優れた防除効果がある。

〔適用病害・雑草と使用方法〕

作物名	適用病害虫名	希釈倍数 (倍)	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	TPNを含む農薬 の総使用回数
西洋芝 (ベントグラス)	炭疽病	250～500	0.5ℓ/㎡	発病初期	8回以内	散布	8回以内
	葉腐病(ブラウンパッチ)	650～1000	1ℓ/㎡				
日本芝	ヘルミントスポリウム 葉枯病	1000					

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の 使用回数	使用方法	TPNを含む農薬 の総使用回数
			薬量	希釈水量			
西洋芝 (ベントグラス)	コケ類	春夏期芝生育期 (コケ類生育初期)	2ml/㎡	500 ml/㎡	8回以内	散布	8回以内
	藻類	芝生育期 (藻類発生初期)		100～ 500 ml/㎡			
		芝生育期 (藻類発生前)	1.0～1.54 ml/㎡	1000 ml/㎡			
日本芝							

⚠ 効果・薬害等の注意

- 使用直前に、容器をよく振る。
- 石灰硫黄合剤との混用はさける。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにする。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

⚠ 安全使用上の注意



- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意する。
眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。

- 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意する。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とす。
 - 夏期高温時の使用をさける。
 - 散布の際は農薬用マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用する。
- 作業後は直ちに身体を洗い流し、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換する。



- かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触をさける。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯する。
- 公園等で使用する場合は、散布中及び散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払う。



- 水産動植物（魚類）に強い影響を及ぼすおそれがあるので、河川、湖沼及び海域等に飛散、流入しないよう注意して使用する。養殖池周辺での使用はさける。
- 水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用する。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきる。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さない。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する。
- 使用量に合わせ調製し、使いきる。空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、適切に処理する。洗浄水はタンクに入れる。
- 火災時は、適切な保護具を着用し水・消火剤等で消火に努める。
- 漏出時は、保護具を着用し布・砂等に吸収させて回収する。
- 移送取扱いは、ていねいに行う。

[保管]：直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温な場所に密栓して保管する。
化管法に対応するその他の注意事項は別表の分類3に表示してある。

農業登録（登録番号）：エス・ディー・エス バイオテック (20210)

販売：理研グリーン、レインボー薬品